



日本福祉大学附属高等学校同窓会会報 たちばな

会長挨拶

ご挨拶



同窓会会長 小塚 光夫

立春の候、同窓会会員の皆様におかれましては、各界各地にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、皆様には、常に本会活動にご理解とご協力を賜っておりますこと、御礼申し上げます。

母校は昭和 33 年の開校以来、今年度で創立 58 年目を迎え、卒業生も 18,800 名余を数えます。知多奥田の恵まれた自然環境のもとで、勉学と部活動に頑張っている後輩たちの伸び伸びとした姿を目にするたびに、先輩として誇らしい思いが胸に湧いてきます。

我が附属高校も 2018 年度に創立 60 周年を迎えます。同窓会といたしましても、母校の益々の発展を願い、支援をしてまいりたいと思っております。是非とも、みなさんのお力をお貸しいただきたく、改めて同窓会活動へのご理解とご協力をここにお願ひ申し上げます。

この会報「たちばな」を通して、卒業生の皆さんの活躍や、現在の附属高校の様子や取り組みに触れていただきたく存じます。久しぶりに母校を訪れてみませんか。「温故知新」一昔を振り返り、新しい自分を発見する、そんな機会が持てるかもしれません。今後とも、同窓会をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2017 年度の主な事業のお知らせ

同窓会幹事会

日時 2017 年 5 月 27 日 (土) 13 時 00 分

場所 日本福祉大学東海キャンパス

3 団体合同講演会

日時 2017 年 5 月 27 日 (土) 14 時 00 分

場所 東海市芸術劇場 (名鉄太田川駅下車すぐ)

講師 為末 大氏 (オリンピック・陸上)

大日方邦子氏 (パラリンピアン・アルペンスキー) 他

演題 「パラリンピックと共生社会」(予定)

※日本福祉大学スポーツ科学部開設記念・シンポジウムと合同開催いたします。

ゆりのき祭

日時 2017 年 9 月 17 日 (日)

内容 2016 年度卒業生が中心となって企画運営を行います。ぜひお越し下さい。

■同窓会の皆様のご参加をお待ちしています。

前日準備 (13:00 頃～) もぜひご協力ください!

同期会等開催費助成制度のご案内

本会の中心的活動の一つである卒業同期会等の開催を促進するために、【同期会等開催助成】をおこなっています。クラス会やサークル OB・OG 会の開催についてもこれを準用していますので、同期会等催される際にはご一報ください。

1 助成金の交付

幹事から申請のあった開催内容に基づいて、各年度一回に限り、次の金額を交付します。

- (1) 同期会の開催にあつては、10,000 円。
- (2) クラス会及びサークル OB・OG 会にあつては、3,000 円。

2 申請手続きから助成金納入まで

①会長宛に別紙【同期会等助成申請書】を記入の上、申請してください。

なお、同期会・クラス会の開催にあたり宛名シール (同窓会名簿による) の発行を希望するときはその旨を申し出てください。

②本部より幹事宛に会費納入のお願い文書や宛名シール、パンフ等 (希望の場合) を送付します。

③同期会終了後、【所定の報告書】を提出してくだ

さい。また、宛名シール (同窓会名簿) と違う連絡先が判明した場合 (住所や氏名の変更) は、お知らせください。

④報告書確認後、申請時の銀行口座に助成金を振り込みます。

3 その他

(1) 申請は、当該年度に開催する同期会等を対象とします。

(2) 同窓会本部は、申請者 (幹事) に対し【同窓会費の納入のお願い】文書等を送付しますので、参加者への周知にご協力ください。

(3) 高校や学校法人が発行するパンフレット等を希望する場合は、その旨を申し出てください。

(4) 本部役員に出席の要請があるときはその旨申し出てください。常任幹事で調整します。

2016年度事業活動報告

- | | |
|---|---|
| <p>1 会務の運営強化</p> <p>2 委員会活動の強化推進</p> <p>3 会員・幹事等交流事業の実施</p> | <p>4 会員・ホームページを中心とする広報活動の実施</p> <p>5 在校生との交流・支援事業の実施</p> <p>6 母校並びに関係支援団体との連携強化</p> |
|---|---|

■ 学年同窓会報告

19 回生（1978 年度卒） 日時：2016 年 4 月 2 日 場所：名鉄グランドホテル
 10 回生（1969 年度卒） 日時：2016 年 9 月 11 日 場所：HOTEL ルブラ王山

会計報告

2015 年度同窓会会計決算 (収入の部)

項目	2015 年度 予算額	2015 年度 決算額	比較	備考
前年度繰入金	1,480,544	1,480,544	0	
入会金収入	845,000	845,000	0	入会金 (@5000 × 169 名)
会費・寄付金収入	50,000	191,291	141,291	
利息収入	254	270	16	銀行利息（普通預金のみ）
合計	2,375,798	2,517,105	141,307	

2016 年度同窓会会計予算 (収入の部)

項目	2015 年度 予算額	2014 年度 予算額	比較	備考
前年度繰入金	1,744,763	1,480,544	264,219	
入会金収入	910,000	845,000	65,000	入会金 (@5000 × 182 名)
会費・寄付金収入	50,000	50,000	0	会費 (@1000 × 50 名)
利息収入	270	254	16	銀行利息
合計	2,705,033	2,375,798	329,235	

(支出の部)

項目	2015 年度 予算額	2015 年度 決算額	比較	備考
事務費	100,000	774	-99,226	* 業務費
消耗品費	30,000	0	-30,000	
印刷費	50,000	0	-50,000	
通信費	10,000	132	-9,868	
アルバイト費	0			
雑費	10,000	642	-9,358	残高証明書手数料
会議費	250,000	36,990	-213,010	* 会議運営費（通信費、会議費、交通費）
幹事会	60,000	4,000	-56,000	1 回
常任幹事会	90,000	31,990	-58,010	5 回
委員会	100,000	1,000	-99,000	
事業費	1,336,500	734,578	-601,922	* 各事業運営費
文化講演会	200,000	84,839	-115,161	三団体合同文化講演会負担分
会報発行	550,000	423,202	-126,798	印刷費、発送作業費、送料
交流企画	100,000	27,460	-72,540	ゆりのき祭企画
ホームページ運営	250,000		-250,000	委託費
特別給付奨学金	100,000	100,000	0	積立拠出
新会員記念品	84,500	78,699	-5,801	卒業証書ファイル贈呈
同期会支援金	52,000	20,378	-31,622	1970 年度、2011 年度
備品費	0	0	0	パソコンリース料
予備費	689,298	0	-689,298	
支出合計	2,375,798	772,342	-1,603,456	
次年度繰越金		1,744,763	1,744,763	
合計	2,375,798	2,517,105	141,307	

(支出の部)

項目	2015 年度 予算額	2014 年度 予算額	比較	備考
事務費	100,000	100,000	0	* 業務費
消耗品費	30,000	30,000	0	
印刷費	50,000	50,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
アルバイト費	0	0	0	
雑費	10,000	10,000	0	残高証明書発行手数料、特別給付奨学金選考委員会旅費など
会議費	250,000	250,000	0	* 会議運営費（通信費、会議費、交通費）
幹事会	60,000	60,000	0	@60000 × 1 回
常任幹事会	90,000	90,000	0	@15000 × 6 回
委員会	100,000	100,000	0	各委員会
事業費	1,343,000	1,336,500	6,500	* 各事業運営費
文化講演会	200,000	200,000	0	運営費負担分 + 懇親会負担分
会報発行	550,000	550,000	0	
交流企画	100,000	100,000	0	ゆりのき祭、役員との交流ほか
ホームページ運営	250,000	250,000	0	個別メンテナンス費
特別給付奨学金	100,000	100,000	0	積立金
新会員記念品	91,000	84,500	6,500	卒業証書ファイル寄贈 (@500 × 182 名)
同期会支援金	52,000	52,000	0	5 件見込み
備品費	0	0	0	
予備費	1,012,033	689,298	322,735	
支出合計	2,705,033	2,375,798	329,235	
合計	2,705,033	2,375,798	329,235	

同窓生のみなさん！年会費（1,000 円）の納入、寄付にご協力ください。

ゆうちょ銀行
 金融機関コード：9900 店番：089 種別：当座 店名：○八九店
 口座番号：0169025 加入者名：日本福祉大学附属高等学校同窓会

2016年度 常任幹事会 役員名簿

役員	氏名	卒業年度(西暦)
会長	小塚 光夫	1968年度卒業
副会長	丸山 容子	1978年度卒業
副会長	吉村 和幸	1984年度卒業
会計	丸山 容子	1978年度卒業
会計	迫田 真希	事務職員
常任幹事	福岡 正之	1971年度卒業

役員	氏名	卒業年度(西暦)
常任幹事	富岡 隆治	1983年度卒業
常任幹事	新美 滋啓	1987年度卒業
常任幹事	酒井 俊作	1993年度卒業
監事	池田 修三	1962年度卒業
監事	堀場 純矢	1993年度卒業
顧問	丹羽 典彦	1960年度卒業

役員	氏名	卒業年度(西暦)
顧問	岩本 憲之	校長
顧問	山口喜久枝	教頭
顧問	河合 良彦	事務長
常任幹事	江ノ上敦士	2001年度卒業
常任幹事	榊原 幸	2003年度卒業
常任幹事	古川 真帆	2005年度卒業

役員紹介

回生	卒業年度(和暦)	卒業年度(西暦)	1	2	3	4	5	6	7	8
1	昭和35	1960	(佐藤 友彦)	*丹羽 典彦						
2	36	1961	桜井 敏寿							
3	37	1962	*池田 修三							
4	38	1963	(山東 克彦)							
5	39	1964	吉田 孝仁	水野 義広	水野 孝安					
9	43	1968	大久利一男	*小塚 光夫						
12	46	1971	河村 昇	*福岡 正之						
14	48	1973	山田 順子	青山 伸吉						
15	49	1974	水野 英子	古澤美代子						
17	51	1976	平瀬 哲則							
18	52	1977	中村 勝彦	鬼頭 和則	青山 智弘	高木 真澄				
19	53	1978	*丸山 容子	桂 佳男						
20	54	1979	高垣 充							
21	55	1980	寛 重和	菊地 淳子						
22	56	1981	岡本 吉治							
23	57	1982	川瀬 克幸	(渡辺 美雪)						
24	58	1983	福井 政浩	榊原 京子	樋口 吉己	*富岡 隆治				
25	59	1984	古川 裕資	大井智穂子	*吉村 和幸					
26	60	1985	福地 充洋							
27	61	1986	松田 洋幸							
28	62	1987	小林 純穂	*新美 滋啓						
29	63	1988	渡邊真理子							
30	平成元	1989	仲野 智	久田 里子						
31	2	1990	瀬尾 隆之	中野 ゆか						
32	3	1991	木俣 聖佳							
33	4	1992	富田 達郎	竹川 寅之						
34	5	1993	岩田佳奈子	西 将志	藤原 聡子	*堀場 純矢	*酒井 俊作			
35	6	1994	白井 雅樹	(榎戸 幸子)						
36	7	1995	佐藤かおり	鶴長 泰輔						
37	8	1996	布目 達彦							
38	9	1997	尾之内 童	白石 優理	長谷川純子	宮川 鮎美	寺澤 由紀			
39	10	1998	市村 美和							
40	11	1999	吉口 史晃							
41	12	2000	鶴飼 健史	御手洗 旭	半田こすも					
42	13	2001	*江ノ上敦士	武田 恵子	廣瀬 美子					
43	14	2002	大久利勇輝	山崎由香里	佐々木諒真	榎本 千香	長坂 創太	久野 達也	堀田 瑞樹	深谷 愛美
44	15	2003	有馬 将太	今井 佐栄	神野 由貴	田島 由佳子	山下さなえ	野々垣聡子	鈴木 警史	小野 七絵
			内田 愛	小川 友子	宮澤 枝里	根崎 芳行	小牧 直哉	相羽 優香	小山 奈未	深谷 典子
			*榊原 幸							
45	16	2004	清水 大介	村上 辰之	山下 雄規	中平 猛				
46	17	2005	北浦 稔	塚田 康人	水谷佳那子	菊地 宏晃	渡辺 拓也	舟橋 佑希	*古川 真帆	
47	18	2006	永田 悦子	生田 卓也	竹内 甫	大河内 恵	小島 祐助	浜野 由莉		
48	19	2007	鶴見 匠	眞鍋智奈実						
49	20	2008	沖田 昌紀	椎葉 梢						
50	21	2009	竹内 航太	小田ひとみ						
51	22	2010	青山 聖恵	長屋亜矢子						
52	23	2011	武田 颯	梶原 裕子	浅井真莉子					
53	24	2012	西保皓太郎	奥村 仁美	戸村 龍昇					
54	25	2013	野田 将也	岩田 唯	高橋 克					
55	26	2014	土屋 大悟	永野朱梨奈						
56	27	2015	江頭 渚	今村 聡志	鶴飼 里佳					

同窓生の活躍

■ 沖田 昌紀さん（スクールソーシャルワーカー）

（2008 年度卒）

「Aくんにこういう行動をさせている背景には何があるだろうか。」
今日も私は、学校の先生と頭を抱えながら話し合う。

私は現在、スクールソーシャルワーカーとして、大阪府茨木市内の小中学校で勤務をしています。スクールソーシャルワーカーは、子どもたちが抱える問題について、「ふくし」の視点から学校の先生と共に、「問題はどこにあるのか」「どうすればより子どもが生活しやすくなるのか」を考え、その課題を解決すべく本人や家族、学校内外にある機関や社会的な資源への働きかけを行うことを仕事としています。

子どもたちが発する様々な行動には必ずその背景となるものがあります。子ども自身や彼ら・彼女らを取り巻く人から話を聞きながらその背景を探っていくことで、表面的な問題だけではなく、本質的な問題の解決や改善につなげていくことができると考えています。

私はこの仕事の中で、「学校という場の力を借りる」ことを大切にしています。学校の中で生活する子どもたち自身にはとても大きな力があります。また「Aくんを助けてい。」「Bさんのために何かしたい。」と思った時の先生方は、他の制度やサービスでは担うことのできないパワーを発揮されます。そんな大きな力・パワーを持った学校という場で、ソーシャルワークをすることができることを、私は本当に誇りに思っています。

私自身がこの「学校の持つ力」を知ることができたのは付属高校での3年間の生活があったからです。中学校3年生までは自身の殻をなかなか破れなかった私でしたが、高校に入学し、生徒会や学年議長団を経験することで、また日々の学びの中で、信頼できる先生や友達に支えられることで、次第に自分自身の殻を破っていくことができたように思います。それまでの生活にはなかった貴重な体験と周りの人々の支えが、自分自身を変えてくれたのです。振り返ると、付属高校での3年間の間に、今の私の原点があるようです。

まだまだスクールソーシャルワーカーとしては未熟で悩みながらの毎日ですが、高校での学びを糧に、先生と、子どもたちと悩みながら進んでいきたいと思えます。



★ 親子で付属校生 ★



往復三時間。

阿部亮介さん（1994 年度卒）

娘が進路を考え、日福の名前を口にした時、私の母校という嬉しさもありましたが、この通学時間に不安を感じました。（娘は女の子なので、この時代ゆえの不安が次々と頭に浮かんでしまいました。）

そんな不安を抱えながら見学会に参加し、私がお世話になった先生方と話す姿を隣で見ていた娘が、こう言ったのです。

「遠いのは不安だけど、それよりも楽しそうだし、先生たちの親近感がすごいから安心できるかも。」

私も、日福で良き友人達と信頼できる先生方に出会い、最高に楽しい高校生活を送ってきました。遠距離だからと反対せず、親子で見学会へ参加して良かったです。不安よりも安心が増した見学会となりました。

現在、お気に入りの制服を着て、好きな海を眺めながら、元気に通わせてもらっています。親子で日福の話ができるのも嬉しいです。

学校生活で色々と思ひ悩む事もあるかと思いますが、卒業する時、高校生活は最高だったと、娘も胸を張って言えると確信しています。

勉強も大切ですが、かけがえのない十代の高校生活を思いっきり楽しんでほしいです。



ゆりのき祭報告

ゆりのき祭へ同窓会 15年の参加



皆様のご協力により、今年も同窓会ブースをお届けすることができました。

2002年の初参加から今回で15回目の参加となりました。

私たちは、卒業してからも仲間たちと再会ができる、年齢を超えて共有できる機会を提供できるよう、ゆりのき祭へ参加しています。ここでの再会や出会いをきっかけに、同窓会やクラス会を開いていただけたら幸いです。

また、現役生の活躍を応援し、交流できる会にしたいと例年お餅つきを行っていますが、今では「同窓会のお餅が楽しみです」との声も聞こえるようになりました。

ご協力くださいました方々に感謝いたします。ありがとうございました。



● 恩師は今 ●



人生の余韻を楽しむ

飯鉢 武男

在職：1970年4月～1999年3月

私が日本福祉大学附属高校で皆さんとともに過ごしたのは、1970(S 45)から1999(H 11)までの29年間です。卒業生の皆さんの年齢で言うと、現在65歳の定年世代から36歳の働き盛りの皆さんです。この間は校名が三度変わり、キャンパスも「山里-プレハブ-美浜」と変わりました。まさに激動の時代でした。

学園の移転と一緒に、我が家も美浜町に引っ越して36年になります。海辺の家での春夏秋冬の景色はそれ

ぞれに趣きがありますが、特に冬の伊勢湾を隔てた鈴鹿の山並みに沈む夕日の美しさは見事です。「俺の人生もあんなふうに美しく終わりたいなあ」と、だいぶ汚れたわが人生を見つ

めながら、見果てぬ夢を見ている。

現役時代は我が家と高校を自転車で往復する毎日で、地域の人たちとは時候のあいさつをするぐらいでした。リタイアしてから誘われて、老人会（「奥田喜楽会」というカッコイイ名前）に入り、一緒に酒を飲んだり、旅行をしたり、祭礼にも参加をしたり、花壇づくりを楽しんだり、様々な活動を通して、大勢の地域の人たちと付き合いようになりました。「俺もやっと奥田の人間になれたのかなあ。」とったりしています。そして此処が自分の人生の「終の棲家」になるのかと思うと、私の好きな「愛燦燦」の一節をお借りすれば、本当に「人生って 不思議なものですね。」

今年で85歳になります。押しも押されぬ「後期高齢者」です。ご存知のOBの先生方の中では島崎先生に次ぐ二番目だと思います。自転車であちらこちら走りまわっていると、「元気だねえ」とか「丈夫だねえ」とか言われますが、「元気なふりをしているだけ。八十何年も生きとりゃ、そのぐらいの演技力は身につきますよ。」って笑っています。

私の「肺年齢」は95歳です！間質性肺炎+肺気腫(COPD)のダブルパンチで、肺の呼吸機能が健康な人の半分ぐらいです。(長年の喫煙が原因ですから、自業自得です。)若い頃から自転車(サイクリング)が趣味でしたが、つくづくよかったなあと思っています。(自転車は有酸素運動のNO.1)「登山が駄目なら自転車があるさ！自転車もこげんようになったら、歩き(ウォーキング)があるさ！」飯鉢流の開き直りの弁です。

2・3年前から日本史の近現代史の学び直しをしています。歴史のターニング・ポイントと言われる「満州事変」の次の年(1932年)に生まれた私にとって、満州事変から無謀な太平洋戦争に至る日本の歴史の歩みは、私の少年期の歩みでもあります。最近の日本の社会の空気の中に、あの頃と同じ空気の匂いを嗅ぐのは、軍国少年だった私の中に残っている「カナリア的嗅覚」でしょうか。

意識して取り組んでいることは、①この時代の歴史書を読む(様々な立場からの)②重要な舞台となった史跡・記念館などの見学③すぐれた映像(映画・テレビ)を観る等々です。この年になっての我流・独学なので、遅々として進みませんが、1ミリ1ミリ自分が賢くなっていくことは…もう一度「愛燦燦」の一節をお借りして…

「人生って 嬉しいものですね」

高校の近況報告



新しい学校づくりに挑戦中です

校長 岩本 憲之

同窓生の皆様、お変わりございませんか。日頃の本校への見守りやご援助に対し、お礼申し上げます。付属高校の近況について報告させていただきます。

2016年度は実りの多い1年となりました。国際交流では本校のとりくみが評価され、愛知県国際交流協会から表彰を受けました。主な内容は和太鼓部が10年以上にわたり、イギリスやアメリカ、中国、台湾、韓国などで海外公演を行い、美浜町の偉人「音吉」をテーマにした和太鼓組曲「海嶺」など伝統文化を伝えたこと、イギリスやオーストラリアへの語学研修のとりくみ、台湾の高校と共同し、World Youth Meetingでの英語の発表、国際協力部が発展途上国の子どもたちに文房具や絵本を贈るなどの国際支援活動を継続的に実施したことなどです。加えて昨年夏には、数名の生徒がフィリピンのネグロス島を訪問し、英語や環境保全のスタディツアーを行いました。今後継続的なとりくみにするために、同島の私立の高等学校と姉妹校提携を行う予定です。

今年度は個々の生徒諸君の活躍が光った年でもありました。県私学弁論大会では3年生が優勝、ここ3年間、3位、2位と着実に順位を上げ、念願の優勝に輝くことができました。また県の高校生ボランティア活動発表会において1年生数名が「被災地支援に笑顔を届けようアンパンマンプロジェクト」のとりくみを発表し、最優秀賞を獲得。和太鼓部とともに、夏に宮城県で開催される全国大会への出場が決まりました。12月に名古屋大学で行われた「高校生防災フォーラム」にも、高校生防災セミナーのメンバー4名が発表。今回は名鉄の無人駅調査をメインに発表しましたが、名古屋大学の先生方から「近年まれに見る素晴らしい発表」と高評価をいただきました。

部活動では和太鼓部が全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において3年連続の優良賞（3位）受賞を始めとして、台湾公演やピッツバーグの高校生や京都橘高校との合同演奏会のとりくみのほか、夏には東北の被災地へ激励演奏に参加するなど、高校生ならではの発信を行いました。またサッカー部は知多選手権優勝やサッカー選手権県大会に出場するなど着実に前進しています。野球部は新年度には新しい指導者を迎える予定です。さらに活性化や強化が図られることが期待されます。

生徒諸君がグローバル社会に対応し、未来を確かに生きる力を切り拓くために、今春から新しいコース制に踏み出します。（文理・英語・総合進学の3コース）それに伴い、新しいカリキュラムや新しい科目（本校独自の学校設定科目 GFS=Global Fukushi Studies や STEM など）を開始します。週あたりの授業時間も増加します。これまで本校が大切にしてきた「誰かのために」の精神を引き継ぎながら、新しい学校づくりに挑戦します。

同窓生の皆様、とりわけ中学生をお持ちの皆様には、本校への入学をご検討いただけるようお願いいたします。毎年10名近い同窓生のお子様の入学をいただいております。大変感謝申し上げます。今春一般入試から名古屋や知多北部の中学校在籍者には日本福祉大学東海キャンパスでの受験ができるようになりました。来年以降も同様に実施する予定です。

末尾になりましたが、同窓生の皆様のますますのご健勝とご活躍を願ひまして状況報告とさせていただきます。

部活の活動状況

ソフトテニス部



ソフトテニス部は、元気よく挨拶するとても明るい雰囲気部の部です。部長が中心となり練習メニューを決め、初心者・経験者分け隔てなく練習に取り組んでいます。男女とも「自主性」をモットーに練習し、強くなる為に良い点や弱点を率直に指摘しあっています。また、マネージャーは練習面、精神面の両方から選手を支えています。

美浜町秋季町民ソフトテニス大会では、2年生の荻本・石井ペアが決勝リーグに出場し、3位入賞を果たしました。また、個人戦だけでなく愛知県高等学校新人体育大会ソフトテニス競

技知多支部予選会では、男子団体が初の決勝リーグに出場をするなどメンバー全体の実力も向上しました。

今年度は野間中学校、河和中学校との合同練習も行うなど、新たな取り組みにも力を入れています。今後、他校との合同練習も検討しています。

来年度の大会に向け、冬の練習もしっかり取り組んでいきます。

写真部

私たち写真部の主な活動は、自分の好きなテーマで撮った写真を持ち寄ってプレゼンテーションをしたり、本校の文化祭や、10月、11月に行われる高文連の作品展に出展する作品づくりをすることです。プレゼンではテーマを設定して撮影し、みんなで意見交換をしています。今年の6月には、知多半島の写真部のある学校が集まって行われる写真講習会に参加し、セントレアで撮影を行いました。部員は1年生11名、2年生1名、3年生5名で、高校から写真を始めた部員が多いですが、お互いに教えあいながら活動しています。

最近ではデジタルカメラでの撮影が主流になりつつありますが、モノクロフィルムで撮影したネガを使った作品作りもしています。今では取り組む学校が少ないですが、学校の部室を改造した暗室で、自分たちで焼き付け作業もしています。狭く真っ暗な部室で、大きな印画紙の焼き付け作業をするのはとても大変ですが、焼き付けた

写真の風景が、現像液のなかの白い印画紙に浮かび上がる瞬間は、毎回とても感動します。

今後は色々なコンテストにも出展出来るように、心に響く一枚を撮っていきたいと思います。

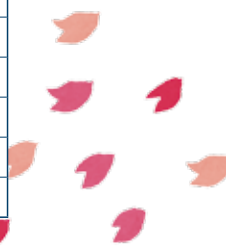


2016 年度在職教職員紹介

職 務	氏 名	学 監	平野 征人
校 長	岩本 憲之	1 学 年 主 任	向井 直紀
教 頭	山口喜久枝	2 学 年 主 任	岡部 道宣
教 務 部 長	加賀 敏美	3 学 年 主 任	近藤美穂子
生活指導部長	竹内 智司		
進路指導部長	松永 太志		
渉 外 部 長	今田 和弘		



氏 名	担当教科	氏 名	担当教科	氏 名	担当教科
青木 律子	英 語	君塚 磨	数 学	長谷川友紀	英 語
石崎 撰	国 語	近藤美穂子	地歴公民	半田こすも	国 語
伊藤 克之	国 語	榊原 智穂	英 語	日高 幸浩	数 学
今田 和弘	地歴公民	重藤 信夫	英 語	平尾佳奈子	国 語
岩橋由美子	養 護	清木 敦史	理 科	松永 太志	地歴公民
岩本 憲之	英 語	滝藤 基司	数 学	宮東 靖浩	理 科
鶴飼 建吾	保健体育	竹内 智司	保健体育	向井 直紀	地歴公民
岡部 道宣	数 学	武智 静香	保健体育	森 あゆみ	国 語
奥田 章子	英 語	田中 理恵	英 語	安井 慎治	地歴公民
加賀 敏美	数 学	築田 岬	養 護	山口喜久枝	国 語
神谷 貴史	保健体育	中川 歩香	英 語	山田 育世	情 報
河合理恵子	理 科	夏目 大輔	理 科	山田 尚悟	地歴公民
木原 侑香	国 語	櫛 秋晴	数 学		



一般入試

今年度より 2 会場で実施しました

2016 年度より、一般入試が美浜キャンパスに加え、東海キャンパスでも実施されました。試験会場までの距離を短くし、試験当日の受験生の皆さんの負担軽減を考えたの取り組みです。知多半島においては東海市・知多市・大府市・東浦町、愛知県内では名古屋市、三河、尾張地区に居住している中学生の皆さんがこの会場で受験をおこないました。初の取り組みとなった2016 年度は、300 名近い中学生の皆さんが東海キャンパスで受験をしました。



日本福祉大学附属高等学校 同窓会

〒470-3233 愛知県知多郡美浜町奥田字中之谷 2-1
TEL (0569) 87-2311 FAX (0569) 87-2312

同窓会報について

同窓会報「たちばな」は PDF 版でホームページに掲載しています。バックナンバー、最新号とも同窓会ホームページでお楽しみください。

<http://www.netnfu.ne.jp/koko-dosokai/>